

janvier 2019
Volume 18

編集：廣田大地
バニユウ・ブリュノ
(神戸大学 大学教育推進機構
国際コミュニケーションセンター)

協力：外国語第Ⅱ教育部会 (フランス語)

連絡先：hirota@people.kobe-u.ac.jp

French Newsletter



バニユウ先生の神戸大学ご退職について・・・

神戸大学の国際コミュニケーションセンターに所属する特任教授であるブリュノ・バニユウ (Bruno Vannieu) 先生が、2019年3月をもって、本学での勤務を終えることになりました。

バニユウ先生は、2008年に着任して以来、2019年の現在にいたるまで、10年以上にわたって、神戸大学でのフランス語教育の中心的存在として活躍してこられました。バニユウ先生は、神戸大生のみなさんそれぞれの性格やフランス語に対するニーズを見極めたうえで、いつも楽しくフランス語が学べる授業を行っていただきました。

バニユウ先生の授業が、楽しく、しかも有意義であることは、授業を受けてきた皆さんであれば身をもって実感していることでしょうか、神戸大学ベストティーチャー賞を5回受賞し、いち早くスーパーベストティーチャーとして「殿堂入り」を果たしていることから伺えます。



授業以外にも、夏季フランス語研修の立案や学生引率、留学予定者に対する個別サポートなどを担当し、ほかにもフランス語クリスマスパーティーを企画するなど、神戸大学でのフランス語学習環境を充実させるために、様々な活動を企画・運営していただきました。

また、バニユウ先生はフランス語教材の開発も手掛けており、右図の「Moi, je... コミュニケーション」をはじめ、さまざまな教科書の作者としても知られています。今後も、またあらたな環境で、日本のフランス語教育を盛り上げていってくださることを願っています！



授業を受けた学生よりお礼のコメント

バニユウ先生には、様々な場面でフランス語学習の手助けをしていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。
(2017年度入学・文学部生)

フランス語学習を楽しく続けられたのは、バニユウ先生のスタイリッシュでバラエティ豊かな授業のおかげです。ありがとうございました！
(2013年度入学・国際文化学部生)

～後任の先生について～

バニユウ先生の後任には、2019年10月より新しいフランス語ネイティブの先生が着任される予定です。前期の半年間は、特任ポストが不在となるため、バニユウ先生が担当していた授業は、他大学の先生にピンチヒッターとして担当いただく予定です。

2019 年度前期の授業

せっかく一年間頑張ったんだから、もう少しフランス語の勉強を続けてみませんか？

文学部・経済学部・経営学部では2年次前期（第1・第2クォーター）も週1コマの必修科目「フランス語中級 C1・C2」があります。それ以外の学部はひとまず必修科目は終わりです。さらに続けたい人のために、2 フランス語の選択科目が複数開講されています。各クラスの教室はまだ未定のため、新年度になってから時間割表などで確認してください。

| 時間 | 担当教員 | 科目名 | 内容 |
|-----|-----------------|------------------------|--|
| 水 3 | ガラベ Garrabet | Academic Communication | 2年生向けのフランス語会話の授業です。テキストは授業でプリントを配布します。ガラベ先生は、これまでも度々、神戸大学にフランス語会話を教えに来てくださっていて、教え方も丁寧で優しいと評判です。（by 廣田） |
| 水 4 | ガラベ Garrabet | Academic Communication | 上記の水3の内容とほぼ同じです。参加者のレベルに応じて、2つの授業間で難易度の調整があるかもしれません。（by 廣田） |
| 水 5 | まつい 松井 | フランス語中級 C1・C2（選択科目） | 教科書として「Promenades En France et ailleurs」（東京大学フランス語教材）を用います。フランス語の読解力を高めると同時に、フランス語圏の文化の諸相について学びます。 |
| 木 2 | いわもと 岩本 | フランス語中級 C1・C2（選択科目） | フランスの国民的マンガ「アステリックスの冒険」を訳しながら読んでみましょう。舞台はローマ帝国に支配された時代のフランス。初級文法の復習をしつつ、自然なフランス語に触れて、会話や読解に慣れていきましょう。 |
| 水 5 | ひろた 廣田 | 外国語セミナー（フランス語）C・D | この授業のみ、3年生以上を対象とします。秋から交換留学に出発するような学生を念頭に置き、実践的なフランス語能力を養います。 |

DELFB1・交換留学 学内選考 合格者へのインタビュー

1年生の皆さんのなかには、フラン語圏への留学を希望している人もいるかと思います。3年後期から1年間留学する際、学内選考は2年次の10月から12月にかけて行われます。また、その際にフランス語能力のひとつの基準になるのが、フランス文科省により行われているフランス語試験「DELF」あるいは「TCF」で、「B1」レベルに合格することです。合格するのはなかなか大変ですが、1年次のいまからしっかり勉強すれば、2年次10月の試験で合格することは十分可能です。先輩のインタビューを「神戸大学フランス語」のWEBサイトに掲載したので、右のQRコードから、ぜひ読んでみてください。



留学を終えた先輩へのインタビュー（国文・河内さん）

どのくらいの間、どの大学に留学していましたか？— 約9か月（2セメスター）フランスのパリ第10大学に留学していました。専攻した分野はフランス政治、EUにおける政治政策です。

フランス留学した年ははどのような年でしたか？— 最初の3か月は語学力不足で授業に全くついていけず苦労しました。パリ第10大学には日本語や日本文化を学ぶ学生はおらず、自ら積極的に頼まなければ助けてくれる学生はいませんでした。とにかく必死に授業に出て耳を慣らす努力をしたり、友達に質問したり、寮に帰るなりフランス語の文献を読んだり、勉強が大変でした。一方でパリには魅力的なイベント、美術館、店が沢山あるし、景色も綺麗で、時間のある日に散歩するのが本当に楽しかったです。フランスは学生に優しいので、留学中は学割を使ってよく美術館に無料で行っていました。また、9か月間でフランス語力も以前より格段に上がり、街中で店員さんと話すことも楽しみの一つになっていました。

フランスで友達はできましたか？またどのように作りましたか？— 数人できました。学部の授業で隣に座っている学生に話しかけたり、学外でも複数人で遊んだ時に友達の友達と知り合ったりして作りました。日本語学科を備えている大学とは違って、自分から積極的に行かないと友達を作ることは難しいです。ですが私も、今でもずっと連絡を取り合うような友達が何人かいますし自分次第です！

フランスで留学をしようと考えている学生に何かアドバイスはありますか？— 二つあります！一つ目は語学力です。フランスでの意思疎通はやはりフランス語で行うことが圧倒的に多いので、早く勉強を始めれば始めるほど留学生活を楽しめると思います。二つ目は留学先では「積極性」を大切にしてください。海外で長期間滞在できることって一生に一回かもしれません。私も「あれにも挑戦しておけばよかった」と思うことがいくつかあります。目の前にある貴重な機会にはためらわずに飛び込んでみてください。あと最後に、お酒が嫌いじゃない人は是非ワインを沢山試してください！フランスには安くおいしいワインが無数にあります！！

